



学校だより3月号

令和6年2月29日

横浜市立六つ川小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

学校教育目標

自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)



春の訪れに

校長 鐘江 ミサ

先日の三連休の雨が春を連れてきたようで、今週はいい天気が続いています。不思議なもので、子どもたちの登校時刻が早くなってきました。身体が成長して、大池からの坂がきつくなくなっていくのか、春を待つ心が取りを軽くするのか、挨拶の声も普段より明るく聞こえてきます。

明日から3月。子どもたちは学びの成果を発表する日に向けての準備を進めていて、校内は前向きな空気に包まれています。その日は、自分の成長、クラスでがんばってきたこと等、お家の人に見せたい姿が見せられ、様々な自分を表現することの楽しさ、清々しさを感じてくれればいいと思います。各学年の内容は、当日のお楽しみですが、お子さんの1年間の成長への喜びやエールを直接伝えていただけるとありがたいです。

年が明けてから、今年度の教育活動や学校運営について振り返る機会が多くありました。保護者の皆様には、学校評価アンケートをいただき、家庭でみられるお子さんの様子や学校に対するご意見を受け取ることができました。それらの結果とご意見をもとに、職員と今年度の振り返りをしています。今年度は、新しい学校教育目標の具現化を目指して、子どもたちと目標を共有しながら、学年や学級目標を創り、学校生活の中で、自分のかがやきや友達のかがやきを意識できるよう取り組んできました。運動会もスローガンを設定して、どの子も楽しめる運動会になるよう工夫しました。運動会以外にも異学年の仲間のよさを見つけたり、関わりあうことのよさに気付いたりできるように、ペア学年の活動を積極的に行いました。コロナ感染症が5類に移行になったことで、実際に関わるという活動が増えてきました。休み時間も元気に校庭で遊ぶ子どもたちの姿に安堵する気持ちになることがあります。これからも、子どもたちが、誰かと関わるって楽しい、友達の良さに気付けるって素敵だなと思えるような活動を積み重ねていきたいと思っています。

MBC(六つ川中ブロック)でも、9年間を見通し、六つ川ブロックの子どもたちにどんな力をつけていくべきか(MBC基礎力とよんでいるもの)を見直しています。MBCでは、以前より小中一貫教育推進ブロックとして、義務教育9年間を見通して子どもたちを育てるという意識が高く、運営協議会も小中ブロックで運営しており、今年度は、ようやく顔の見える協議会が開けるようになりました。そこでは、地域の方々が学校を支え、子どもたちを見守る思いの強さにふれ、学校として感謝の気持ちをもつと共に、義務教育としての学校の責任を強く感じました。

また、本校のくすのき会という、地域の方々との懇話会も開かせていただき、地域の方々からの学校へのご意見等もいただきました。この会でも、地域の方々が、子どもたちの成長を見守り、未来の担い手として期待しているというお話を伺うと、地域のためにも、しっかり送り出さないといけないと襟を正す思いになりました。

学警連という警察との連携会議においても、様々な方々が児童生徒の健全育成のためにと、情報交換の時間が設けられていました。様々なお話を聞き、多くの取組や一人一人に関わる方々の思いの中で、子どもたちが成長していくということを実感できた時間でした。委員の方の「今、誰かが向き合うことが大切だと思います。」という言葉が、心に残っています。

令和5年度も、保護者の皆様、地域の皆様、多くの方々に、ご理解ご協力をいただき、なんとかあと一か月となりました。私たち職員も子どもたちの成長をしっかりと見取り、私たち自身の振り返りをし、皆様よりいただきましたご意見等を参考に、来年度に生かしていきたいと存じます。ほんとうにありがとうございました。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。